

しいたけ 栽培技術情報 No.1

今年もしいたけ栽培作業の最盛期を迎える時期となります。きのご採取・乾燥作業と春の農作業とが重なり、最も忙しい時期ですが、九州・静岡等の主産地では春子の不作が確定的との情報が入ってきていて、本県の生産者にとってはしいたけ販売額増収のチャンスです。

適期作業と適切な栽培管理を行うため、今後、数回にわたって技術情報を発信しますので、各普及区での指導の徹底をお願いします。

防風対策が必要です 防風ネットを活用しよう！

きのご発生ほだ場の乾燥防止対策として

ほだ木の乾燥を防止するため、主方向の風上側を重点に防風ネットを張る。
さらに乾燥を防止するため、中仕切りにも入れてネットを張ると効果的。

散水が効果的です 散水施設を活用しよう！

きのご発生ほだ場の乾燥防止対策として

きのごの発生を促すために散水を行い、きのごが発生し収穫予定3日前を目安に中止し、良質なきのごの状態にて採取出来るよう成長させる。

散水施設があるほだ場では、最大限散水する。

散水施設の設置可能なほだ場では、最大限散水する。

散水は、夕方から早朝にかけて散水する。

水源の貯水量が少ないほだ場では2時間程度を目安に2回に分けて散水する。

きのご発生前のほだ木にも十分に散水する。

保温対策が効果的です 被覆資材を活用しよう！

ほだ木の乾燥防止対策として被覆資材による「保温・保湿」を

水分不足・温度不足によるきのご成長不良を避けるため、散水後にビニール資材等を活用し「保温・保湿」対策を行う。

散水施設がない場合は、被覆資材だけの対策でも効果的。

きのご発生促進と良質なきのご採取には、ほだ場の環境に応じて伏せ込み高を低く伏せるなど、ほだ木に『手を掛ける』こと。

詳細な技術については添付「農業普及（季節の農作業）」を参考にしてください。

（担当：菊池 019-698-1337）